土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般県道　吉川西条線　道路改良事業に伴う測量等業務委託

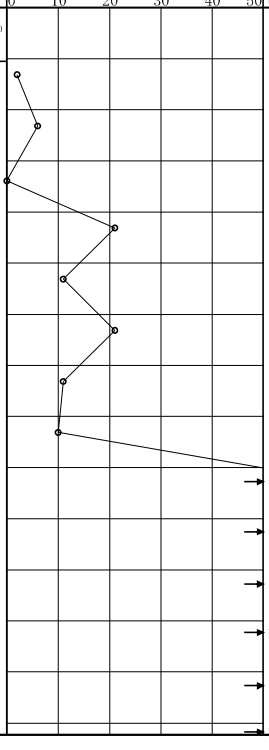
事業名 または 工事名　一般県道　吉川西条線　道路改良事業

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	No.2	**調査位置**	広島県東広島市八本松町原			**北緯**	34° 24′ 15.0174″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2022年 7月 20日 ～ 2022年 7月 23日	**東経**	132° 41′ 47.5305″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 207.31m	**角度**	180° 上 90° 下 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
使用機種	**試錐機**	YBM　YSO-1HA					
総削孔長	14.00m	**エンジン**	ヤンマーNFD10	**ポンプ**	GP-5		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	206.71	0.60		砂		暗黄褐	rd2		完新世	中砂～粗砂主体、深度0.5～0.6m間は、φ10～30mmの亜角礫が多く混入する。	07/20 1.05
1				シルト混じり砂		黄褐	rd2			わずかに粘性を含んだ均質な細粒砂。深度1.05mで自然水位を確認。	
2	204.91	2.40									
	204.41	2.90		砂質シルト		暗灰		rc2		細砂を基調とし、全体にシルト分を含み軟質。腐った木片を混入する。	
3				シルト質砂		暗灰	rd1			全体に細砂を含みシルト質で非常に軟質。腐植物を多く混入する。	
	203.61	3.70									
4	203.11	4.20		砂		茶褐	rd2			粗粒の真砂上状を呈した砂。やや締まっている。	
	202.41	4.90		砂質土		褐～淡灰	rd3			粗砂主体。固結しており棒状コアを呈す。火山灰層を挟む。	
5				粘土		褐灰～淡灰		固結した		固結した粘性土で棒状コアで採取される。	
6	201.01	6.30									
7				砂質粘土		淡褐灰		固結した		全体に細砂を含んだ固結した粘性上で棒状コアで採取される。	
8	198.76	8.55									
9				礫混じり砂		黄褐～淡黄褐	rd5		更新世	真砂土状を呈した粗砂を主体とする。全体的にφ20mm程度までの角礫～亜角礫が混入する。最大でφ50mmの亜円礫が混入する。 深度12.3m以深は礫分少なくなり、砂は中砂主体となる。硬質な流紋岩質礫が少量混入する。	
10											
11											
12											
13											
14	193.31	14.00									

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.15	1	1/200		2/300		
	1.45						
6	2.15	1	2	3	6/300		
	2.45						
0	3.15	自沈			0/450		450
	3.60						
21	4.15	6	6	9	21/300		
	4.45						
11	5.15	3	3	5	11/300		
	5.45						
21	6.15	6	7	8	21/300		
	6.45						
11	7.15	2	4	5	11/300		
	7.45						
10	8.15	3	3	4	10/300		
	8.45						
65	9.15	19	25	6/30	50/230	230	
	9.38						
83	10.15	28	22/80		50/180	180	
	10.33						
65	11.15	21	22	7/30	50/230	230	
	11.38						
115	12.15	39	11/30		50/130	130	
	12.28						
71	13.15	18	29	3/10	50/210	210	
	13.36						
125	14.10	42	8/20		50/120	120	
	14.22						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
	孔内載荷試験		E=2.35E+04kN/m²		7/20
					7/21
					7/22